

📖 今月のおすすめ本 📖

『はじめにきてね、こちょこちょモンキー！—同意と境界、はじめの一步』

著者名 ジュリエット・クレア・ベル/作、アビゲイル・トンプキンズ/絵、上田 勢子・堀切 リエ/訳
出版者 子どもの未来社
出版年 2021
分類番号 726.6/ト



絵本の紹介です。就学前のお子さんと一緒にどうぞ。解説付きです。

こちょこちょくすぐるのが大好きな、こちょこちょモンキーはいつも誰かをくすぐらないと気がすみません。そんな時「やめてよ こちょこちょモンキー！くすぐらないで。」という子ができました。さてどうする・・・？！

自分が楽しくても他者が同じく楽しく感じているとは限りません。

された相手の方も、色々な理由で嫌だと思っても言い出せないこともありますよね。何かを他の人にするときには前もって聞いてみる、もし失敗したら謝るなど

こちょこちょモンキーは学んだようですが、これからうまくやっていけるかな。

個人を取り巻く泡・バブルのように存在するパーソナルスペースを気遣い、大事にすることがコミュニケーションの第一歩になるかもしれません。

同意や境界についての図書

『子どもを守る言葉『同意』って何？ YES、NOは自分が決める!』【368.64/7】

レイチェル・ブライアン/作、中井 はるの/訳 (2020) 集英社

自己主張についての図書

『アサーティブ 素直な自分表現』【146.816/イ】

岩船 展子・渋谷 武子/著 (1999) PHPエディターズ・グループ

『働く女性のためのアサーティブ・コミュニケーション』【336.4/テ】

アン・ディクソン/著 (2009) クレイン

※ アサーティブとは、相手の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を率直に主張できる状態のこと

いろいろな感情についての図書

『気もちのリテラシー 「わたし」と世界をつなぐ12の感情』【146.8/ヤ】

八巻 香織/著 (2019) 太郎次郎社

『女性がイキイキと働き続けるためのヘルスリテラシー』

著者名 北 奈央子
出版者 セルバ出版
出版年 2022
分類番号 495/キ

日本のジェンダーギャップ指数（男女格差を数値化したもの）が、先進国の中で最低レベル、幸福度もあまりよろしくないというのは知っていますが、昭和初期に女性が一生のうちに経験する月経の数が50や100回だったのが、現代女性は500回にもものぼるというのを見てびっくりする方も多いのでは。

それぞれの女性が必要としているヘルスリテラシー。仕事との両立、ライフステージによって家族への負担が過多になったりもします。

健康でキャリアを重ねつつイキイキと働き続けるには、自分がどう生きていきたいのかしっかり考え、行動していくことが大切なようです。そのひとつのヒントとしてこの本は利用できそうです。

女性の健康についての図書

『「はたらく」を支える！女性のメンタルヘルス』【498.8/マ】

丸山総一郎/著（2017）南山堂

『年代別女性の健康と働き方マニュアル ワーク・ライフ・バランスとヘルスケア

女性も男性も暮らしも職場もhappy!に』

【495/ミ】 水沼 英樹/監修（2012）SCICUS

『これからの時代を生き抜くための文化人類学入門』

著者名 奥野 克巳
出版者 辰巳出版
出版年 2022
分類番号 389/オ

著者曰く、文化人類学は既成のやり方や考え方を疑ってみる姿勢を内在化させた学問です。自分が生まれ育った文化の価値観や習慣・制度などから「あたりまえ」に従って異文化を理解、判断してしまうこともよくあるそうです。相手の側からでなく自分が慣れ親しんだ方からの判断では社会の分断を生み出します。19世紀の上から異文化を眺める形から、20世紀には異文化を直に触れその内側から理解しようとし、それぞれ固有の価値を認める考え方に文化人類学は発展してきました。

現代の社会はインターネットの普及により人々のつながりを深めたように見えますが、逆に自分側からの判断を一方的にして発信してしまうケースも見受けられます。このような姿勢を変えない限り、他者への無理解と自分勝手な見解の意見を広めることになってしまうので、まず相手を理解するということが大事です。その一助として本書を活用できるでしょう。性や政治、宗教などについて書かれています。

文化人類学・ジェンダーについての図書

『ジェンダーで学ぶ文化人類学』 【389.0/タ】

田中雅一・中谷文美/編（2005）世界思想社

『ジェンダー人類学を読む：地域別・テーマ別基本文献レビュー』 【389.0/ウ】

宇田川 妙子・中谷 文美/編（2007）世界思想社

『文化人類学のレッスン：フィールドからの出発』 【389/オ】

奥野 克巳・花淵 馨也/共編（2005）学陽書房